

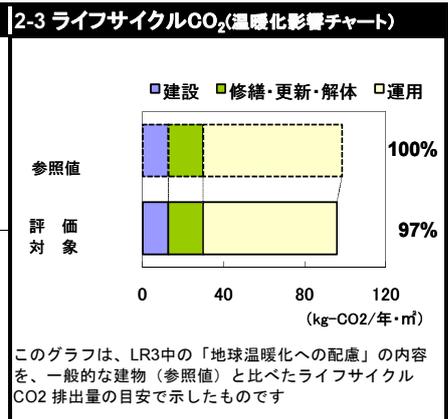
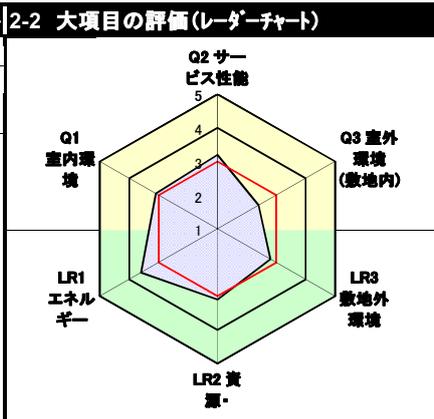
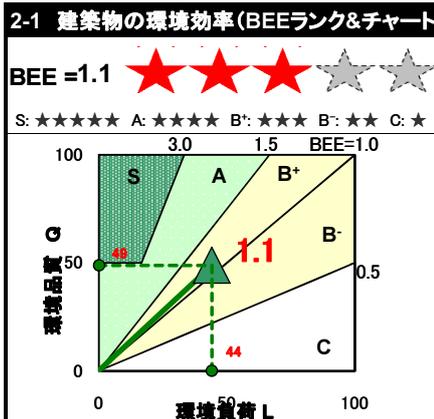
CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

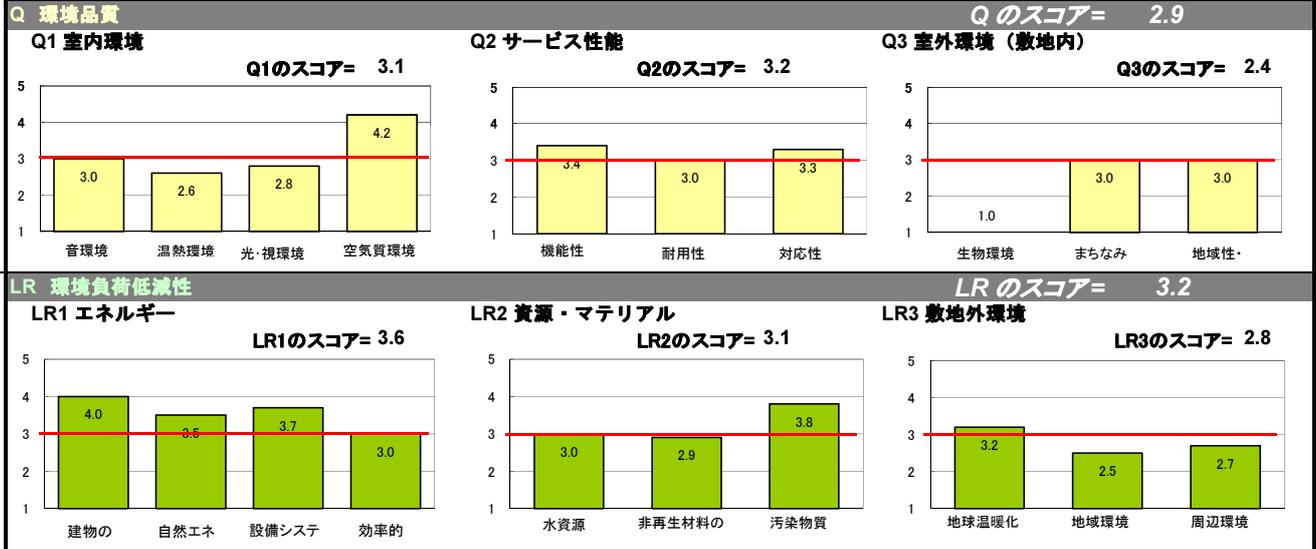
■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	神川中学校 校舎棟	階数	地上4F
建設地	京都市伏見区羽東師菱川町741番地	構造	RC造
用途地域	準工業地域、防火未指定(法22条)地	平均居住人員	656 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,000 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年8月 予定	評価の実施日	2010年5月6日
敷地面積	24,251 m ²	作成者	三宅 晃郎
建築面積	596 m ²	確認日	2008年7月10日
延床面積	2,080 m ²	確認者	〇〇〇

外観/パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合	その他
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 パラペットに勾配付金属板横葺きの庇を設け景観に配慮した。 外部部面には断熱材、太陽光発電設備・高効率照明器具を採用して省エネに配慮した。	注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 外壁に断熱材を設け、窓上に日射遮蔽庇を採用した。教室にはエアコンを設置して環境の向上に努めた。	Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 各階便所はバリアフリー、1階便所は身障者(オストメイトも対応)対応設備を設けた。
Q3 室外環境 (敷地内) 注) 「Q3 室外環境 (敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 既存の樹木を残した建物配置にした。	LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 太陽光発電、省エネ機器、断熱材を採用した。
LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 地業工事の砂利敷きは、すべて再生砕石を採用した。	LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 屋外設備機器は、低騒音、低振動機器を採用した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される